



曾爾村

ふつうに暮らす、そっと寄り添う

SONI VILLAGE
Living naturally with you



お問合せ

一般社団法人 SONI SUMMIT

〒633-1212 奈良県宇陀郡曾爾村大字今井495-1

TEL | 080-7208-4518 MAIL | soni.summit.official@gmail.com

HP | <https://sonisummit.com>



HP



Instagram

SONI SUMMIT は、曾爾村の移住相談窓口です。一人ひとりの暮らしや生き方にそっと寄り添い、あなたらしい移住のカチをサポートします。

2022年2月発行

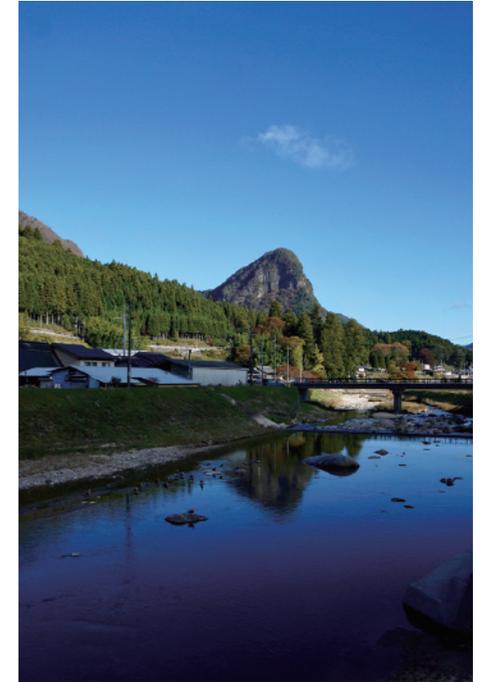
曾爾村

SONI VILLAGE



DATA

面積 : 47.84 km²
 人口 : 1,361 人 (2022 年 1 月時点)
 8 月の平均最高気温 : 30°C
 2 月の平均最低気温 : -3°C
 (データ提供元 : NOAA)



曾爾村は、奈良県の東北端に位置する小さな村です。「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、初夏に舞う蛍や、金色に輝くスキの大海原など、豊かな自然が織りなす圧巻の風景が、日々の暮らしを彩ります。また、瑞々しい夏のトマトや、厳しい冬の寒さで甘みを増した寒熱ほうれん草といった、高地地帯特有の気候を生かした農産物が生産されています。



ふつう

この村にあるのは、ふつうの暮らし。

ここで生まれ育った人も、働きにきた人も、縁あってきた人も
 ひとりの人間として、ただここにいる。
 この村で、同じ空気を吸って、同じ景色を見て
 ともに日々を過ごしている。

“移住”という言葉は、なにか特別に聞こえるけれど
 本当に大切なものは、簡単には変わらない。

ここに移り住んで、生活を続けていく
 ただそれだけのこと。

さまざまな背景を持つ人たちが出会い
 互いを認め合いながら、暮らしている。

ごくありふれた、当たり前前の日常。

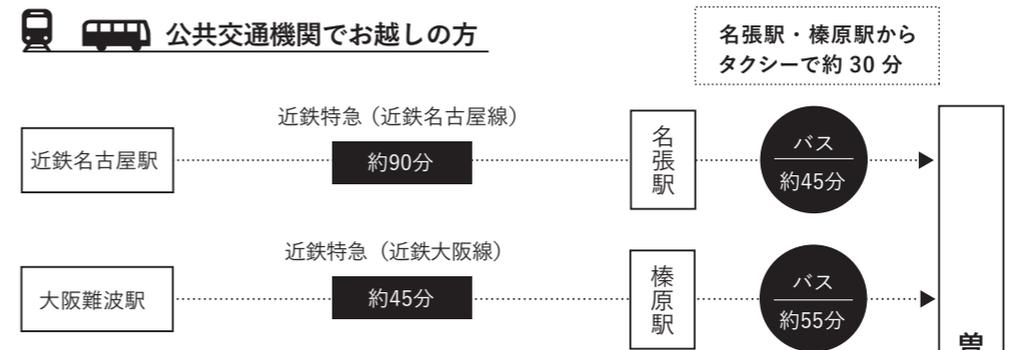
本当に大切なものは、そんなふつうの中にある。

目次

- 02 アクセス
- 03-04 マップ
- 05-06 暮らし
- 07-08 しごと
- 09 すまい
- 10 子育て・教育・医療

アクセス

公共交通機関でお越しの方



車でお越しの方



9つの大字からなる、山々に囲まれた小さな村、曾爾村。

山粕

Yamagasu



集落内の春日神社の秋祭りでは、子どもたちが神輿を引いて練り歩く。伊勢本街道沿いのめだか街道は、観光スポットのひとつ。

掛

Kake



村で唯一の信号機があり、国道は御杖村に通じている。集落に沿って流れる川では6月頃に蛍が浮遊する。

長野

Nagano



国指定の天然記念物である屏風岩がシンボルで、春にはミツバツツジと山桜が岩壁を彩る。曾爾保育園があるのもこの集落。

小長尾

Konagao



曾爾小中学校、クラインガルテン曾爾(滞在型市民農園)があるのはこの集落。赤目へと続く県道付近を流れるのは、圧巻の自然美を誇る済浄坊の滝。

今井

Imai



村の中央部で、役場、農協、森林組合などが集まる地区。門僕神社の秋祭りでは、300年の歴史を誇る「曾爾の獅子舞」が奉納される。

塩井

Shioi



古光山の裾野に位置する集落。曾爾村が「ぬるべの郷」と呼ばれる起源となった、漆塗りの発祥地であると言われ、漆の植栽地や工房、拠点施設がある。

葛

Kazura



国指定の天然記念物である鎧岳がシンボル。実が左巻きにねじれる「ヒダリマキガヤ」の木が群生し、県の天然記念物に指定されている。

太良路

Taroji



ススキで有名な曾爾高原や、天然温泉お亀の湯があり、多くの観光客が訪れる。村内でも特に水資源が豊かで、この地区の高原湧水群は「平成の名水百選」に選ばれている。

伊賀見

Igami



曾爾村の中で最も面積が広く、世帯数が多い。四季折々の表情をみせる香落溪や小太郎岩など、溪谷のダイナミックな自然景観が特徴。



暮らしのスポット

- 診療所
- 郵便局
- ガソリンスタンド
- 金融機関
- 食料品店
- 保育園
- 小中学校
- 図書館(旧曾爾小学校)
- 飲食店
- 農協



高原地帯に位置する曾爾村の夏は、比較的涼しく過ごしやすいものの、近年は温暖化の影響もあり、エアコンを利用する家も増えています。一方、長く厳しい冬を越すための防寒対策は欠かせません。路面や水道などの凍結に対する備えが必要です。

春

山桜の見ごろは4月中旬。初夏まで少し肌寒さも残ります。

花粉が多い

お花見は防寒対策万全で！

除湿器大活躍

夏祭りに花火

村内一斉の草刈り

蛍スポット多数



夏

涼しく快適な曾爾の夏。気温が上がる日中には川遊びも。

冬

焚火や薪風呂、薪ストーブ、火のある暮らしを楽しめます。



絶品！寒熱ほうれん草

水道管の凍結に注意

迫力満点！曾爾の獅子舞！

大迫力の曾爾高原山焼き

曾爾高原方面の渋滞に注意

スタッドレスタイヤ必須

カメムシ対策は洗濯物の室内干し

秋

ススキで有名な曾爾高原には、この時期多くの観光客が訪れます。

お買い物事情

食材や日用品を扱っている小さな商店や、地元の新鮮な野菜を販売している直売所があるため、必要なものは基本的に村内で手に入ります。旬の野菜は農家さんから直接購入できたり、ご近所さんがお裾分けしてくれることも。

コンビニや大型スーパー、家電量販店のある近隣市街までは車で約30分。

*家電製品や衣料品、薬など、村内で手に入りにくいものは近隣の町にあるお店やネット通販を利用します。

*週に一度、コンビニの移動販売車が来たり、生協の配達もあります。



そののわの台所 katte

毎週水曜日は地域の採れたて野菜や食品が並ぶ「そののわマルシェ」を開催。

お財布事情

家賃や教育費は低コスト。一方、村ならではの出費もあります。

家賃が安いというイメージから、都市部に比べるとお金がかからないと思われることの多い村の暮らし。実際には車の維持費や下水処理、ご近所付き合いなど、村ならではの暮らしに必要な出費も多くあります。一方で良心的なのは教育費。子育て世帯に嬉しい補助制度が充実しています。

都市部の生活と比べると・・・



5人家族の場合

DOWN 【家賃 約30,000円/月】
一戸建ての古民家を借りた場合の、平均的な家賃です。

KEEP 【電気代 約4,000円/月】
夏場はクーラーなしでも過ごせますが、電気ストーブやこたつなど、厳しい冬の寒さ対策には費用がかさみます。

UP 【ガス代 約7,000 - 11,000円/月】
プロパンガスのため、都市ガスに比べて1.5~2倍の費用がかかります。

KEEP 【水道代 約3,000円/月】
水資源が豊富な曾爾村では、湧き水や山水を利用し、水道料金があまりかからない地域もあります。ただし、村内には下水道が通っていないため、浄化槽や汲み取りに関する費用が必要です。

UP 【浄化槽に関わる費用】
浄化槽保守点検費用 約12,000円/年
浄化槽法定点検費用 約4,500円/年
※年1回程度の定期清掃や汲み取り費用も必要です。

UP 【灯油代(冬) 約6,000 - 8,000円/月】
ストーブを使用する期間が11月~4月頃と長いため、灯油代がかさみます。真冬は1か月で18ℓポリタンクを3~4個分消費します。

UP 【ガソリン代 約12,000円/月 *1台分】
どこへ行くにも車での移動がメインになるため、1人1台車があると便利です。冬場の道路凍結に備え、スタッドレスタイヤも必須です。

UP 【テレビ・ネット代 約7,000円/月】
曾爾村でテレビを見る場合には、ケーブルテレビの契約が必須。ネット回線もケーブルテレビの光回線を利用できます。

UP 【内費 約10,000 - 40,000円/年】
内費とは集落を維持するための自治会費で、住む地区によって金額は異なります。その他、お葬式やお祭りなど、地域との関わりの中で必要な費用も。

DOWN 【その他】
基本的な日用品や食材などの出費は都市部とほぼ変わりませんが、村内には夜まで営業している飲食店が少ないため、外食費が自然と減るかも。

村内で就職するのか、村外へ通勤するのか、起業・開業を目指すのか...
いま村で暮らしている人たちに、それぞれの働き方やライフスタイルについて聞いてみました。



村内で働く

役場をはじめとする公共施設や観光施設のほか、農林業や製造業を営む企業に属し、安定的に働くことが可能です。村内の組織に所属することで、地域のコミュニティに溶け込みやすいというメリットもあります。



河合 元紀さん
曾爾村役場 / U ターン

曾爾村出身。ITメーカーや金融機関を経て、東京で出会った妻の由希乃さんと共に27歳でUターン。「高校進学で村を出る時、いつかは曾爾に戻りたいと考えていました。大阪や東京での生活に比べると、改めて曾爾は自然が豊かで暮らしやすいと感じます。子育ても地域ぐるみで見守ってくれる安心感がありますね。」



椿根 英和さん
山粕郵便局 / U ターン

曾爾村出身。高校進学を機に村を一度離れ、奈良市の住宅関連会社に勤めた後、山粕地区の郵便局長に。「生まれ育った曾爾村で、顔馴染みのお客様の大切なライフイベントのお手伝いをさせてもらえることに、やりがいを感じています。インフラも整い、豊かな自然と人の温もりに囲まれて起業したい方にはおすすめの環境です。」



森 裕香子さん
地域おこし協力隊 / I ターン

高取町出身。結婚を機に曾爾村に移住し、シェアキッチン「そののわの台所 katte」の運営を担う。商品開発やワークショップの企画、ショップ運営など、食と農を活かした取組みに尽力中。「この場所をきっかけに村の食文化と人と人が繋がり、さらに人と人との交流が生まれていくところに魅力を感じながら活動しています。」

※地域おこし協力隊とは

総務省による地域活性化の取組みの一つで、都市から移り住んだ人が、最長3年間をかけて地域の課題解決や産業支援などに関わる制度。曾爾村では、これまでに任期を終えた人のうち、約8割の隊員が現在も村内に住みながら仕事を続けています。

村外へ通勤する / テレワークする

近隣市街地まで車でおよそ30分という利点を生かし、村外へ通勤している人も多くいます。また、企業に所属しながら自宅でテレワークをすることも可能です。



西口 望美さん
看護師 / 天理市へ通勤

曾爾村出身。天理市の病院に看護師として勤務。自家用車と電車を使って1時間ほどかけて曾爾から通勤している。「高校と専門学校もバスを使って実家から通っていましたが、不便だと思ったことはありません。住み慣れた村で家族や友人に会えることと、曾爾の静かで落ち着いた環境が気に入っています。」



木治 明志さん
会社員 / 伊賀市へ通勤
(現在テレワーク中)

曾爾村出身。住宅設備関連の企業でシニアアドバイザーを務める。愛知県への単身赴任を2度経験し、曾爾村に戻ってからは伊賀市まで通勤していたが、コロナ禍でテレワークに。「自宅での仕事はパソコンに向かうことが多いですが、昼休みの時間に少し畑仕事をするなど、体を動かすことでバランスをとるようにしています。」

起業する

村では起業や新規就農を目指す人をバックアップするための、各種支援制度を用意しています。自然豊かで多くの観光客が訪れる地域性を活かし、民宿やキャンプ場、飲食店の新規開業など、さまざまな人の新たなチャレンジが、村の活気に繋がっています。



丸山 卓哉さん・節子さん 喫茶店 / I ターン

奈良市出身。元経営者で料理好きな卓哉さんと、塾講師だった節子さんが「教え子が大きくなってからも気軽に立ち寄ってもらえる場所をつくりたい。」との想いから、曾爾村へ移住してログハウスの喫茶店をオープン。「曾爾の豊かな自然が気に入りました。観光のお客様だけでなく、近所の方にも利用していただけて嬉しいです。」



山下 竜一郎さん・岩間 朱水さん 農家 / I ターン

大阪府出身の山下さんは、体調不良をきっかけに曾爾村に移住し、宇陀市にある有機農産物栽培の訓練学校を経て独立。同学校で出会った滋賀県出身の岩間さんとともに有機JAS認証の野菜を栽培している。「今後は有機というこだわりに加えて、水や景観の美しい曾爾村だからこそ作れる野菜の価値をさらに上げていきたいと思っています。」

※就農時、曾爾村独自のリースハウス事業を活用

主なしごとの支援制度 お問合せ 役場企画課 TEL: 0745-94-2116

- ・起業支援補助金：新規事業の開始に要する経費の2分の1(限度額100万円)
- また近年では、農林業の分野において後継者の育成に力を入れており、独立までの準備期間として地域おこし協力隊制度を活用するなど、村としてのサポート体制を整えています。

曾爾村での家選び

村での生活を検討する上で重要な要素 = 家選び

村内にある住宅の多くは昔ながらの木造民家で、不便な部分もある反面、どこか懐かしいぬくもりが感じられる点が魅力です。

村としても、積極的に家探しをサポート。空き家バンクのサービスや村営の若者住宅に加え、2021年度から新たに始まった村の「リビングシフト事業」で改修された古民家など、それぞれが求めるライフスタイルに応じた家選びが可能です。



自由にリノベーションして自分好みの家に住みたい！



ご近所付き合いや地域の特性を知ってから、家を選びたい！

買う

メリット ・住み続けられる。
・自由に改修出来る。

デメリット ・維持管理にお金がかかる。
・物件の選択肢が少ない。

借りる

メリット ・初期費用が安い。
・気軽に引っ越しできる。

デメリット ・改修する際は要相談。
・契約の更新が必要。

空き家バンク

住まいに関する情報の提供を行い、空き家所有者と移住希望者を相互につなぎます。村から委託を受けたNPO法人空き家コンシェルジュが運営しています。



soni-akiyabank.com

若者住宅

村内に定住しようとする若者に向けて、村が建設した賃貸住宅。単身者用と家族用があり、空室が出ると村のHPで随時募集がかかります。(入居に関する諸条件あり)



www.vill.soni.nara.jp/Info/105

リビングシフト

使われなくなった古民家を村が借り上げ、ライフラインに関わる部分を快適に整えて、移住希望者に向けた賃貸住宅として提供しています。(入居に関する諸条件あり)



www.vill.soni.nara.jp/Info/424

主なすまいの支援制度 お問合せ 役場企画課 TEL：0745-94-2116

- ・空き家改修補助金：空き家の改修に要する経費の3分の2(限度額200万円)
- ・空き家家財道具等整理補助金：空き家の家財道具等の整理に要する経費の2分の1(限度額15万円)
- ・薪ストーブ設置補助金：薪ストーブの購入及び設置に要する経費の2分の1(限度額15万円)

曾爾村での学び

子ども一人ひとりに寄り添った保育や指導が魅力

曾爾村には村立の保育園と小中学校があり、地域の自然環境や伝統を活かしたカリキュラムを取り入れながら、幅広い学びの機会を提供しています。一方、村内には高校がないため、高校への通学は公共交通機関を利用する必要があります。(保護者が送迎するケースも)また、近隣市内には県立の寮も整備されています。

曾爾保育園

TEL：0745-94-2301



0歳児から5歳児までを対象に、発達状況に応じたきめ細やかな保育に取り組んでいます。和太鼓の学習など、伝統文化に対する知識や理解を育むとともに、保護者や地域住民との連携にも力を入れています。

その年ごとの園児の雰囲気や人数にあわせた、柔軟な保育をおこなっています。村内で野菜の収穫体験をしたり、異世代との交流会が開かれたりと、地域との繋がりも強いので、あたたかく見守ってもらえる安心感があると思います。子育ての悩みや気になることがあれば気軽に相談してくださいね。



園長・東口直子 先生

曾爾小中学校

TEL：0745-94-2014



2020年春に小学校と中学校を統合し、9年間の一貫した教育の中で、幅広い年齢層による豊かな学びの場づくりを実現。村の伝統である獅子舞を学ぶ地域学習や、国立曾爾青少年自然の家との連携など、村一丸となって教育環境を整えています。

教師が一人ひとりの児童・生徒と深く向き合い、細かなところにも目が行き届く教育環境は、少人数ならではの良さだと思います。今後、生徒達が進学や就職を機に村から離れることがあっても、将来また帰ってきたいと思う気持ちを育めるよう、地域とともにある教育を大切にしています。



校長・森川敏和 先生

主な子育て・教育の支援制度

【曾爾保育園】

- 保育料無料(一時保育・延長保育を除く)
- チャイルドシートの無償貸出
- 給食費全額補助

【曾爾小中学校】

- 給食費全額補助
- 修学旅行費全額補助
- 制服代補助(上限あり)

【その他】

- ▲0歳から中学校卒業までの医療費全額補助
- 村外の高校等にバス通学する生徒への通学定期半額補助

お問合せ

- 保育園 TEL：0745-94-2301 ▲役場住民生活課 TEL：0745-94-2102
- 教育委員会 TEL：0745-94-2104 ○役場企画課 TEL：0745-94-2116

医療・介護

【医療施設】 TEL：0745-94-2212

曾爾村国民健康保険診療所
・総合診療科
・歯科(予約制)

【高齢者福祉施設】 TEL：0745-96-2144

曾爾村蘇いの森
・ケアハウス
・デイサービスセンター

【近隣の総合病院】

宇陀市立病院(奈良県)
名張市立病院(三重県)
※それぞれ車で30分程度